別記様式第1号(第7条第1項関係)

遺伝子組換え生物等使用実験計画書(第一種・第二種)

　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 第二種使用等実験 | □　機関実験　□　大臣確認実験(第二種使用等拡散防止措置確認申請をすること。) |
| 大臣確認実験となる根拠 | 　 |
| 大臣確認実験となる遺伝子組換え生物等の種類・入手先 | 生物種： |
| 入手先： |
| 機関実験として使用する遺伝子組換え生物等の入手：　□有　□無生物種：入手先： | カルタヘナ法以外の関係法令等の規制の有無：　□有　□無□感染症法(厚生労働省)　　□家畜伝染病予防法(農林水産省)□植物防疫法(農林水産省)　　□その他(　　　　　　　　　) |
| 遺伝子組換え生物等の譲渡等(譲渡・提供・委託)：　□有　□無　□未定相手先： |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請の種類 | 実験の区分 | 拡散防止措置の区分 | 経費 |
| □新規□変更(承認年月日：　　　年　月　日，承認番号：　　　) | □　微生物使用実験　　□　植物等使用実験□　大量培養実験　　　　□　植物作成実験□　動物使用実験　　　　□　植物接種実験□　動物作成実験　　□　きのこ作成実験□　動物接種実験□　細胞融合実験(異なる分類学上の科に属する生物の細胞融合)□　教育目的遺伝子組換え実験 | □P1□P2□P3□P1A□P2A□P3A□その他 | □LSC□LS1□LS2□P1P□P2P□P3P | □文科省運営費交付金□文科省等科研費□その他(　　　　　) |

|  |  |
| --- | --- |
| 実験の名称 | 　 |
| 実験実施期間 | 　　年　　月から　　年　　月まで(変更後の開始時期：　　年　　月から) |
| 実験責任者 | 配属又は所属部局等の所在地 | (〒　　　　) |
| 配属又は所属部局等・職名 | 　 |
| 氏名 | TEL　　　　　FAX　　　　　E-mail |
| 登録番号： | 宿主及びその取扱い経験年数： | 組換えDNA実験経験年数： |
| 実験場所 | 所在地 | (〒　　　　) |
| 名称 | 　 |
| 承　認　番　号 |  |
| 飼養・栽培等場所 | 所在地 | (〒　　　　) |
| 名称 | 　 |
| 承　認　番　号 |  |
| 実験従事者 | 配属又は所属部局等・職名 | 氏名 | 登録番号 | 宿主及びその取扱い経験年数 | 組換えDNA実験経験年数 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 実験の目的 | 　 |
| 実験の概要 | 　 |
| 実験を行う必要性 | 　 |
| ※　動物を宿主とする場合のみ記入すること。供与核酸のうち宿主が有していない病原性微生物の感染受容体となるものがあるか□　ある　　　　　□　ない　　感染受容体となるか調べた具体的な方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ |
| 核酸供与体(クラス) | 核酸の種類 | 未同定DNA実験に係る単離予定のDNA | 同定済みDNA実験に係る供与DNA | ベクター | 宿主(クラス) | 保有動植物等 | 封じ込めレベル | 備考(動物を宿主とする場合，供与核酸のうち宿主が有していない病原性微生物の感染受容体となるか記載) |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等の特性 | 核酸供与体の特性 | 　 |
| 供与核酸の特性 | 　 |
| ベクター等の特性 | 　 |
| 宿主等の特性 | 　 |
| 遺伝子組換え生物等の特性(宿主等との相違を含む。) | 　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等を保有している動物，植物又は細胞等の特性 | 　 |
| 拡散防止措置 | 区分及び選択理由 | 　 |
| 遺伝子組換え生物等を不活化するための措置 | 　 |
| その他 | 　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 安全主任者確認欄 | 上記の実験計画は，□大臣承認実験　□大臣確認実験　□機関実験であり，実験計画書に不備のないことを認めます。 |
| 安全主任者部局・職・氏名 | 印 |

＊ 遺伝子組換え生物等を譲渡，提供，委託並びに移動する場合は，情報提供を行うこと。

＊「遺伝子組換え生物等使用実験計画書記入要領」により作成すること。